

平成21年度 一般会計予算

50億8,000万円

3月定例議会で、平成21年度予算が可決されましたので、その概要をお知らせします。

「生活者の暮らしの安心」、「金融・経済の安定強化」及び「地方の底力の発揮」に施策を集中させた国の新年度予算案は、一般会計総額が前年度当初予算対比6.6%増の88兆5,480億円となり、3年連続の増加を見せました。

21年度予算は、こうした国の動向、地方財政計画等を勘案しつつ、終始最大限の財源確保に努める中での編成となりました。また、第4次八百津町総合計画及び第3次行政改革大綱に沿った行財政基盤の確立に務め、閉塞感が漂うことなく住民ニーズの優先度を測り、可能な限り皆様の期待に応えることを目標に経費の節減、合理化に努めた効率的な予算編成を行ったところです。

八百津町の一般会計においては、前年度増額要因の芦渡消防センター建設等の事業が終了しましたが、下記の主要事業などに配分し、昨年とほぼ同額(0.6%増)の予算としました。

主要事業の紹介

- | | | | |
|--------------------------------|-----------|--------------------------------|----------|
| ●学童保育事業の充実(錦津新設) | 6,560千円 | ●学校支援員等の充実 | 44,926千円 |
| ●健康増進事業の充実
(一般健診健診項目の追加など) | 13,580千円 | ●消防施設整備費 | 36,400千円 |
| ●乳幼児等医療費助成の拡大
(中学校3年生まで拡大) | 32,000千円 | ●橋梁長寿命化計画策定 | 6,000千円 |
| ●後期高齢者医療費負担金 | 156,116千円 | ●県産材需要拡大施設等整備事業
(木造施設整備費補助) | 30,000千円 |
| ●ファミリーセンター改修事業
(音響、個別空調設備等) | 50,150千円 | ●その他プラ回収事業の拡大
(10箇所→84箇所) | 5,124千円 |

歳入

一年間のすべての収入(一般会計)

皆さんの税金や国からの地方交付税が代表的なものです。

町民一人あたりが支払う税金 (H21.4.1現在の人口 12,790人)		
116,028円		
内 訳	固定資産税	61,376円
	住民税	48,241円
	たばこ税	4,144円
	軽自動車税	2,267円

【用語の解説】

- 自主財源
町の条例などに基づき独自に収入するもの
- 依存財源
主に国や県から交付されるもの
- 地方交付税
国から財政力に応じて交付されるもの
- 繰入金
基金などから現金を取り崩して入れるもの
- 繰越金
前年度余剰金のうち財源として予算化するもの
- 町債
事業などの財源として借り入れる長期借入金

